

第1会場：国際会議場ホール (会議棟 7階)

9:30～9:40 開会の辞

高久 史磨 (医療の質・安全学会理事長、自治医科大学学長)

9:40～10:30 会長講演

座長：上原 鳴夫 (東北大学大学院医学系研究科 教授)

「医療安全 — 知の結集と実践の革新をめざして」

嶋森 好子 (慶応義塾大学看護医療学部 教授)

10:40～11:40 特別講演

座長：川嶋 みどり (日本赤十字看護大学看護学部 部長)

「チンパンジーの親子と文化」

松沢 哲郎 (京都大学霊長類研究所 所長)

11:45～12:10 総会

13:20～15:00 シンポジウムI

医療機関における自浄的医療事故調査のあり方について

座長：長尾 能雅 (京都大学医学部附属病院 医療安全管理室)

- 1 患者有害事象の院内検討 一名古屋大学病院を例として
相馬 孝博 (名古屋大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部)
- 2 医療安全の向上を目的とした病院横断的多職種ピアレビューとその効果
中島 和江 (大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部)
- 3 有害事象発生時の院内調査指針
長谷川 剛 (自治医科大学医療安全対策部)
- 4 医療の安全確保に活かす院内事故調査のあり方
加藤 良夫 (南山大学法科大学院 教授)
- 5 医療事故調査の多様性
児玉 安司 (東京大学医学系研究科 弁護士)

15:05～16:05 教育セッション I

**安全マネジメントシステムの功罪
～鉄道・航空・原子力・医療におけるSMSの実態と今後の課題～**

座長：松月 みどり ((財)田附興風会 医学研究所 北野病院)

1 安全マネジメントシステムの功罪～鉄道・航空・原子力・医療におけるSMSの実態と今後の課題～

芳賀 繁 (立教大学現代心理学部)

指定発言 安全におけるマネジメントシステムの役割を考える

小松原 明哲 (早稲田大学 理工学術院創造理工学部経営システム工学科)

16:10～17:45 シンポジウム II

医療の質と安全確保のための医学教育

座長：中島 和江 (大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 病院教授)
森本 剛 (京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター 講師)

1 新しいdisciplinary：医療安全学

小泉 俊三 (佐賀大学医学部附属病院総合診療部 教授)

2 医療安全教育のデザイン

森本 剛 (京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター 講師)

3 医療安全管理者が担当する医療安全教育

中島 和江 (大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部 病院教授)

4 合同ワーキンググループが提案する医療安全教育カリキュラム

柳田 国夫 (東京医科大学霞ヶ浦病院 副院長)

18:30～20:00 懇親会

於：ニュー・トーキョー・ビッグサイト店

第2会場：会議室605 + 606 (会議棟 6階)

12:15～13:15 ランチョンセミナー

共催：オリンパスメディカルシステムズ(株)

座長：内田 良子 (深谷赤十字病院 看護部長)

データを活かす！根拠に基づく業務改善活動の取り組み—看護の現場における実践事例—

河口 重子 (京都第二赤十字病院 看護部)

塩田 浩子 (財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院 看護部)

13:20～14:50 教育セッション II

医療従事者の労働環境を労働科学の視点から検討する

座長：藤盛 啓成 (東北大学病院 医療安全推進室)

1 医療従事者の労働環境を労働科学の視点から検討する

酒井 一博 (労働科学研究所)

2 医療従事者の労働環境を労働科学の視点から検討する～社会経済的側面に焦点を当てて

鷺谷 徹 (中央大学 経済学部)

14:55～18:00 ワークショップ I

地域医療の確保と患者参加

14:55～16:25 ①病院前から病院までの救急医療体制はいかにあるべきか

座長：小泉 俊三 (佐賀大学医学部附属病院総合診療部 教授)
山元 恵子 (春日部市立病院看護部長)

1 我が国の救急医療体制—現状と課題

坂本 哲也 (帝京大学附属病院救命救急センター)

2 重症患者の家族が救急に求めたこと

坂下 裕子 (小さないのち)

3 プレホスピタルケアの質向上への取り組み—ドクターヘリとメディカルコントロール—

益子 邦洋¹⁾、松本 尚¹⁾、原 義明¹⁾、阪本 雄一郎¹⁾、朽方 規喜¹⁾、武井健吉¹⁾、齋藤 伸行¹⁾、
金丸 勝弘¹⁾、八木 貴典¹⁾、鉄 慎一郎¹⁾、飯田 浩章¹⁾、増田 幸子¹⁾、横田 裕行²⁾

¹⁾日本医科大学千葉北総病院 救命救急センター、

²⁾日本医科大学付属病院 高度救命救急センター

4 病院前から病院までの救急医療体制はいかにあるべきか

三浦 公嗣 (厚生労働省医政局指導課)

5 東京消防庁における救急業務の取組みについて

野口 英一(東京消防庁 救急部長)

6 「病院前から病院までの救急医療体制はいかにあるべきか」～昨今の報道から

館林 牧子(読売新聞社 医療情報部)

16:30～18:00 **②チーム医療と患者参加で創る安全 ～最新の米国視察を参考に**

座長：鮎澤 純子(九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座)
村上紀美子(医学ジャーナリスト)

1 いのちを守るコミュニケーション 医療チームが最大の力を発揮するために

中原 るり子(東邦大学医学部看護学科)

2 医療安全に患者・家族はどのようにして参加していくか

豊田 郁子(新葛飾病院 患者支援室)

**指定発言 エビデンスに基づいたコミュニケーションの戦略的改善モデル
TeamSTEPPSとFull disclosure**

種田 憲一郎(国立保健医療科学院 政策科学部 安全科学室長)

第3会場：会議室607 (会議棟 6階)

12:15～13:15 ランチョンセミナー

共催：カルメル・ファルマ・ジャパン(株)

座長：阿南 節子(市立堺病院薬剤科部長)

抗がん剤の安全な取り扱い ―看護師の職業性曝露を防止するために―

佐々木 真紀子、石井 範子(秋田大学医学部保健学科基礎看護学講座)

13:20～14:20 一般演題：口演 第1群

質・安全の確保/改善①：転倒転落対策(1)

座長：横井 郁子(東邦大学医学部 看護学科高齢者看護学)

1-1 転倒、転落に関わる要因からの転倒者判別方式の試作

○阿久津 孝子¹⁾、佐藤 小百合²⁾

¹⁾埼玉みさと総合リハビリテーション病院 看護部、²⁾埼玉セントラル病院

1-2 転倒転落アセスメントシートの再評価

○市田 勝、樋口 一江、鶴見 眞理子、上野 久子、河野 龍太郎、長谷川 剛
自治医科大学 医療安全対策部

- 1-3** 急性期病院の入院患者における転倒リスクの予測モデルの開発
○下久保 亮太¹⁾、飯島 佐知子²⁾、安西 由美子³⁾、森田 恵美子³⁾、仲川 明代³⁾、岡本 和士²⁾、平井 さよ子²⁾、賀沢 弥貴²⁾
¹⁾名古屋大学医学部附属病院、²⁾愛知県立看護大学、³⁾公立陶生病院
- 1-4** 予測精度の高い転倒アセスメントスコアシートへの改訂の取り組み
○森田 恵美子¹⁾、飯島 佐知子²⁾、安西 由美子¹⁾、仲川 明代¹⁾、下久保 亮太³⁾、長谷川 隆一¹⁾
¹⁾公立陶生病院 看護管理部、²⁾愛知県立看護大学、³⁾名古屋大学医学部附属病院
- 1-5** 大学病院における転倒・転落事故の経年的変化と対策の効果
○田中 武一¹⁾、森本 剛²⁾、足立 由起³⁾、雛田 知子³⁾、長尾 能雅³⁾、坪山 直生¹⁾
¹⁾京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系 運動機能開発学、
²⁾京都大学大学院 医学研究科 医学教育推進センター、
³⁾京都大学医学部附属病院 医療安全管理室
- 1-6** 転倒・転落対策の効果 ～マニュアルの改訂前後の比較～Effect of fall-down incident and accident measures ; Comparative study before and after manual revision
○為則 邦美、山本 直子、上谷 幸子、荒木 みゆき、梅田 智子、東野 千恵、溝口 三佐子、田中 有紀、中野 文子
三田市民病院 看護部

14:30～15:30 一般演題：口演 第2群

質・安全の確保/改善②：転倒転落対策(2)

座長：花井 恵子 (北里大学病院 医療安全管理室)

- 2-1** 繰り返し転倒する患者に関する要因分析
○犬飼 智子¹⁾、兵藤 好美²⁾
¹⁾(財)操風会 岡山旭東病院 (岡山大学大学院保健学研究科 博士前期課程)、
²⁾岡山大学大学院保健学研究科
- 2-2** 急性期病院における転倒防止ケアと転倒リスク要因の関連と効果
○大木 裕子¹⁾、飯島 佐知子²⁾、下久保 亮太³⁾、安西 由美子⁴⁾、森田 恵美子⁴⁾、仲川 明代⁴⁾
¹⁾愛知県立看護大学大学院 看護学研究科 修士課程、²⁾愛知県立看護大学、
³⁾名古屋大学医学部附属病院、⁴⁾公立陶生病院
- 2-3** 排泄ケア教育による転倒・転落事故防止対策
○岩下 結子、丸山 めぐみ、高岡 さと子、中村 美由紀、小原 圭子
医療法人三州会 大勝病院
- 2-4** 多職種連携による転倒予防対策チームの活動とその効果～活動開始後4年経過して～
○梅川 由紀¹⁾、平井 覚²⁾、井上 ひとみ¹⁾、西森 裕子¹⁾、太田 聡美¹⁾、浜田 裕子²⁾、山田 俊乃³⁾、渡邊 良平⁴⁾
¹⁾財団法人 永頼会 松山市民病院 看護部、²⁾松山市民病院 リハビリテーション科、
³⁾松山市民病院 薬剤部、⁴⁾松山市民病院 医局

2-5 当院職員の転倒予防に対する3年間の意識の変移と転倒率について～医師・看護職員への意識調査から～

○井上 ひとみ¹⁾、太田 聡美¹⁾、平井 覚²⁾、浜田 裕子²⁾、梅川 由紀¹⁾、西森 裕子¹⁾、山田 俊乃³⁾、渡邊 良平⁴⁾

¹⁾財団法人 永頼会 松山市民病院 看護部、²⁾松山市民病院 リハビリテーション科、³⁾松山市民病院 薬局、⁴⁾松山市民病院 医局

2-6 転倒転落及び行動制限アセスメントフローチャートの有効性について

○百瀬 ひろこ、遠山 信幸、水上 由美子

自治医科大学さいたま医療センター 医療安全管理室

15:40～16:40 一般演題：口演 第3群

質・安全の確保/改善③

座長：原田 賢治(東京大学医学部附属病院 医療安全対策センター)

3-1 Hazard and Operability (HAZOP)法を用いたリスク連鎖分析とその遮断：誤嚥性肺炎モデルを用いた検討

○山脇 正永¹⁾、野村 徹¹⁾、大川 淳¹⁾、戸原 玄²⁾、千葉 由美³⁾、清水 充子⁴⁾

¹⁾東京医科歯科大学 医学部 臨床教育研修センター、²⁾東京医科歯科大学 高齢者歯科学、³⁾東京医科歯科大学 高齢者看護学、⁴⁾埼玉県総合リハビリテーションセンター

3-2 呼吸管理に臨床工学技士が関与することの有用性の検討

○相嶋 一登¹⁾、野田 雅美¹⁾、朝藤 直子¹⁾、大谷 太一¹⁾、青木 宏介¹⁾、鈴木 利哉¹⁾、五十嵐 俊²⁾、山崎 いづみ²⁾、平井 純子²⁾、鬼頭 文彦²⁾

¹⁾横浜市立市民病院 臨床工学部、²⁾横浜市立市民病院 医療安全管理室

3-3 安全性を考慮した気管吸引チューブの検討 ～「気管吸引のガイドライン」を参照して～

○永原 大輔、新田 幸路、前田 和美、鳥羽 理行

特定・特別医療法人 慈泉会 相澤病院

3-4 抹消静脈挿入型中心静脈カテーテルの有用性 前向き調査比較研究の結果より

○枝元 良広、三原 史規、及川 芳徳、畑 太吾、橋本 政典、齊藤 幸夫、清水 利夫
国立国際医療センター 戸山病院 外科

3-5 ドリップアイ[®]を用いた中心静脈輸液速度管理

○徳道 久就¹⁾、沢井 昌子²⁾、岡本 広子²⁾、川端 千恵子²⁾、野村 耕章³⁾、辻 博⁴⁾

¹⁾黒部市民病院 臨床工学科、²⁾黒部市民病院 看護科、³⁾黒部市民病院 脳神経外科、⁴⁾黒部市民病院 内科

3-6 風邪に対する抗菌薬処方に関する一般人の意識調査

○東 尚弘¹⁾、竹上 未紗²⁾、横山 葉子²⁾、林野 泰明²⁾、山崎 新²⁾、大谷 晃司³⁾、福原 俊一²⁾

¹⁾国立がんセンター がん予防・検診研究センター 検診研究部、²⁾京都大学医学研究科医療疫学分野、³⁾福島県立医科大学整形外科

16:50～17:50 一般演題：口演 第4群

質・安全の確保/改善④

座長：長尾 能雅(京都大学医学部附属病院 医療安全管理室)

4-1 入院患者死亡確認システムの評価

○藤田 千鶴、加藤 櫻子、蓑島 光里、星長 清隆

藤田保健衛生大学病院 医療安全部 安全管理室

4-2 最近1年間の来院後24時間以内死亡患者の調査報告～画像診断による死因究明～

○樋口 敦子、小池 明美、鈴木 美智子、吉井 新平

立川メディカルセンター 立川総合病院 安全管理室

4-3 院内心肺蘇生報告からみた急変時の迅速対応

○高田 幸千子¹⁾、横山 広行^{1,2)}、内藤 博昭^{1,3)}、野々木 宏²⁾

¹⁾国立循環器病センター 医療安全推進室、²⁾国立循環器病センター 緊急部、

³⁾国立循環器病センター 放射線診療部

4-4 院内死亡と早期発見早期対応システム(RRT)の必要性

○遊道 桂子¹⁾、種田 憲一郎²⁾

¹⁾尼崎医療センター、²⁾国立保健医療科学院 政策科学部

4-5 大阪大学医学部附属病院における院内救急体制：Utstein方式に準じた記録を用いたシステムの検証と今後の課題

○高橋 りょう子¹⁾、清水 健太郎²⁾、田崎 修²⁾、藤野 裕士³⁾、中島 和江¹⁾

¹⁾大阪大学 医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部、

²⁾大阪大学 医学部附属病院 高度救命救急センター、³⁾大阪大学 医学部附属病院 集中治療部

第4会場：会議室608 (会議棟 6階)

12:15～13:15 ランチョンセミナー

共催：日本シャーウッド(株)

座長：相馬 孝博(名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部 准教授)

「周術期肺塞栓症の防止 Up-to-date」

鈴木 利保(東海大学医学部外科学系麻酔科学 教授)

13:20～14:20 一般演題：口演 第5群

質・安全の確保/改善⑤

座長：坂口 美佐 (滋賀医科大学医学部附属病院 医療安全管理部)

- 5-1** 注射オーダーリングシステム運用の実態調査～オーダー締め時間変更による病棟準備率の変化～
○平松 祐貴子、土本 恵美子、鷲見 みどり、前田 芳樹、田中 安雄、宮本 光次
岐阜社会保険病院
- 5-2** KYポスト(危険予知ポスト)の報告システムを構築
○上野 久子¹⁾、樋口 一江¹⁾、市田 勝¹⁾、鶴見 真理子¹⁾、森戸 栄¹⁾、加藤 朋子¹⁾、篠原 和子¹⁾、長谷川 剛¹⁾、河野 龍太郎²⁾
¹⁾自治医科大学附属病院 安全対策部、²⁾自治医科大学 医療安全学
- 5-3** 適切な簡易懸濁法の推進
○大塚 恵、真塩 早枝子、後藤 泰子、小阿瀬 牧子、中澤 綾乃、吉田 仁志、磯野 淳一、富所 順子、神田 大輔、西田 保二
群馬県済生会前橋病院 薬局
- 5-4** 医療におけるFMEAを用いた簡易懸濁法の作業標準の確立と院内全病棟への導入
○稲吉 礼子¹⁾、杉山 良子¹⁾、佐野 雅隆²⁾、棟近 雅彦²⁾
¹⁾武蔵野赤十字病院、²⁾早稲田大学創造理工学研究科
- 5-5** 東北大学病院における中心静脈穿刺専用室の成果と課題
○宮田 剛、衣袋 静子、鬼下 由美子、小野寺 崇、佐藤 成、鈴木 信一、藤盛 啓成、本田 正子、梁川 功
東北大学病院 移植再建内視鏡外科

14:30～15:30 一般演題：口演 第6群

リスクマネジメント①：インシデント分析

座長：矢野 真 (武蔵野赤十字病院 呼吸器外科)

- 6-1** 病院情報システム導入前後におけるインシデントレポート分析
○山口(中上) 悦子¹⁾、朴 勤植²⁾、荒川 哲男¹⁾
¹⁾大阪市立大学医学部附属病院 安全対策室、²⁾大阪市立大学 医学部附属病院 医療情報部
- 6-2** 医療事故検証から有害事象検証システムへの展開とトリアージ、エラー分析手法の選択
○江原 一雅、岡本 規子、花岡 澄代、角山 香織、前田 潔
神戸大学 医学部附属病院 医療安全管理室
- 6-3** 名古屋大学医学部附属病院ICUに於ける医師からのインシデントレポートの分析
○高橋 英夫¹⁾、相馬 孝博²⁾、宮田 はるみ²⁾
¹⁾名古屋大学 大学院 医学研究科 救急集中治療医学、
²⁾名古屋大学医学部附属病院 医療の質安全管理室

- 6-4** リスク項目を明確にした透析室インシデントレポートの分析
○向井 紗矢花¹⁾、田辺 ルミ¹⁾、末若 美乃里²⁾
¹⁾川崎医科大学附属川崎病院透析室、²⁾川崎医科大学附属川崎病院医療安全管理室
- 6-5** 看護師のインシデントに対する意識と行動の変化 ～P-mSHELLモデルを使用して～
○小松 愛沙、直井 仁美
自治医科大学附属さいたま医療センター

15:40～16:40 一般演題：口演 第7群

リスクマネジメント②：危機管理

座長：栗原 博之 (NTT東日本関東病院 医療安全管理室)

- 7-1** 重大事故発生時の対応パスの作成－薬剤過量投与事故から学ぶ－
○平野 一美、犬飼 政美
磐田市立総合病院
- 7-2** 与薬事故予防への取り組み
○井上 由美子、高原 静子
日本私立学校・共済事業団 東京臨海病院
- 7-3** 当院におけるCT室でのアナフィラキシーショックへの対応策
○上原 元、依光 たみえ、平良 弘子、比嘉 真利子、吉本 佐和子、安谷 正、雨田 立憲
沖縄県立中部病院
- 7-4** 自己抜去をした患者から導き出したリスク要因
○千葉 玲子
医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

16:50～17:50 一般演題：口演 第8群

質・安全の評価/指標

座長：大道 久 (日本大学医学部 社会医学系医療管理学分野)

- 8-1** インシデントレポートを活用した業務改善箇所の特定
○鳥居 健太郎¹⁾、西川 武一郎¹⁾、平野 佳穂²⁾
¹⁾東芝 研究開発センター、²⁾東芝林間病院
- 8-2** 死亡診断書からの死亡症例データ活用の検討
○上田 郁奈代¹⁾、中島 和江²⁾、村田 泰三¹⁾、掘島 裕之¹⁾、松村 泰志¹⁾、武田 裕¹⁾
¹⁾大阪大学医学部附属病院 医療情報部、
²⁾大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

- 8-3** 簡便な有害事象把握手法の開発・一次スクリーニング項目の改良
○平尾 智広¹⁾、池田 俊也²⁾、兼児 敏浩³⁾、長谷川 友紀⁴⁾、長谷川 敏彦⁵⁾
¹⁾香川大学 医学部 医療管理学、²⁾国際医療福祉大学、³⁾三重大学、⁴⁾東邦大学、⁵⁾日本医科大学
- 8-4** 手術にかかる有害事象抽出のためのスクリーニング基準としての術後の抗生剤使用状況
○兼児 敏浩、石橋 美紀、日比 美由紀、竹田 寛
三重大学医学部附属病院 安全管理部

第5会場：会議室703 (会議棟 7階)

13:20～14:20 一般演題：口演 第9群

質・安全と情報①

座長：古田 康之 (亀田メディカルセンター 医療安全管理室)

- 9-1** 口頭指示の運用を開始しての実態調査から見えてきたこと
○高橋 恵子
医療生協さいたま 埼玉協同病院
- 9-2** 紙の指示簿による運用における注射・点滴のインシデント分析～情報伝達の観点から～
○庄子 由美
東北大学病院 重症病棟部 ICU1
- 9-3** 処置用オーダーリングの入力漏れをなくそう
○上野 真弓、田島 朋子、鹿野 恵津子、小林 香織、飯塚 恵里、入沢 光美、富所 順子、
神田 大輔、吉永 輝夫、西田 保二
群馬県済生会前橋病院 小児・一般内科病棟
- 9-4** 医療被ばく記録手帳「レントゲン手帳」の普及
○諸澄 邦彦、中村 豊、北村 善明
社団法人 日本放射線技師会
- 9-5** 医療行為の記録統一化による安全管理と教育体制への効果
○山雄 さやか¹⁾、堀之内 秀仁¹⁾、嶋田 元²⁾、寺井 美峰子³⁾、西村 直樹¹⁾、徳田 安春⁴⁾、
石川 陵一⁵⁾
¹⁾聖路加国際病院呼吸器内科、²⁾聖路加国際病院医療情報センター、
³⁾聖路加国際病院医療安全管理室(セーフティマネジャー)、
⁴⁾聖ルカ・ライフサイエンス研究所臨床疫学センター、⁵⁾聖路加国際病院脳神経外科

14:30～15:30 一般演題：口演 第10群

質・安全と情報②

座長：戸田 由美子 (東名厚木病院 医療安全管理室)

- 10-1** インフォームド・コンセントのための説明文書のわかりやすさ、安心感と患者の文書理解、評価、同意行動の関係

○野呂 幾久子¹⁾、邑本 俊亮¹⁾

¹⁾東京慈恵会医科大学 人間科学教室 日本語教育研究室、

²⁾東北大学大学院 情報科学研究科 認知情報学分野・学習心理情報学分野

- 10-2** キーパーソンの役割に対する医療者、患者と家族の意識に関する研究－第1報 看護師へのアンケート調査報告－

○菅野 友紀¹⁾、比良 美季²⁾、副島 和彦¹⁾

¹⁾昭和大学大学院 保健医療学研究科、²⁾中島内科小児科医院

- 10-3** 病院図書室(館)・患者情報室の役割とその課題

○勝山 貴美子¹⁾、越野 かな子²⁾

¹⁾大阪府立大学 看護学部、²⁾日本赤十字社医療センター

- 10-4** 内容分析による過去の医療事故に関する研究の特徴－看護研究に焦点を当てて－

○上野 栄一¹⁾、一ノ山 隆司²⁾、明神 一浩³⁾、上木 礼子¹⁾、舟崎 紀代子⁴⁾、宮崎 由美子⁵⁾

¹⁾福井大学医学部看護学科、²⁾富山福祉短期大学、³⁾谷野呉山病院、⁴⁾富山市民病院、

⁵⁾社団法人いずみ会温泉リハビリテーションいま泉病院

第6会場：会議室601 (会議棟 6階)

15:00～16:30 実技セミナー

共催：カルメル・ファルマ・ジャパン(株)

「抗がん薬のより安全な取り扱いを目指して」

講演：宮松 洋信 (東京医科大学病院 薬剤部主査 がん薬物療法認定薬剤師)

実技：閉鎖系薬剤混合器具(PhaSealシステム)による調製と投与の実際